



UNITE FOR GOOD

釧路西ロータリークラブ会報

会長方針「Rotaryの良さを!」

本年度 第18回(通算第2455回)

プログラム「 会員卓話(請川会員) 」

担当 社会奉仕委員会

■2026年3月16日(月) 12時30分～ ■例会場:ANAクラウンプラザホテル釧路

【会長】杉野 史和 【副会長】大場 恵治 【幹事】佐々木 進 【副幹事】加納 則好・平 信二

★ IMのお願い



平澤 利秀ガバナー補佐
佐久間 泰弘 補佐幹事

本日は例会前の貴重な時間をありがとうございます。西クラブ様におかれましては既に 27 名の全員登録、15 名の参加とご返信を頂いております。4 月 4 日(土)釧路市観光国際交流センターにおきまして第 7 分区の IM が開催されます。クラブの枠を超えロータリアン同士が共通のテーマで語り合い学びを共有し親睦をはかる、年に一度の大切な機会です。普段は中々お会い出来ない他クラブの皆様と意見交換出来ることは、私たち一人一人の視野を広げクラブの活性化にも役立ちます。今年度の IM のテーマは「We are ロータリアン!地域における奉仕活動の原点回帰」～ロータリーをもっと身近に～とさせて頂きました。今さら言うまでも無く、ロータリークラブは国際社会や地域社会に貢献する奉仕団体です。国際社会に対する取組も大切ですが、今回は足元を見つめ直し、視点を変えて私たちの身近にロータリアンの助けを必要としている地元の団体、個人に支援の必要を考えました。これら地域における課題と解決策に努力しながら、少しでも役に立てる機会にして行きたいと思い、プログラムを企画させて頂きました。ロータリーの友情と精神を改めて感

じる機会として、どうか、お一人お一人、多くの皆様の参加をお待ちしております。

また、翌 5 日に分区事業であります「飲酒運転撲滅啓発運動」ということで、釧路町ポスフルにおいて昼 12 時～13 時までの 1 時間、今年はパークゴルフではなく、釧路警察署と共同で飲酒運転撲滅運動をすることも決定しました。IM の翌日ということですが、多くの皆様にご参加頂ければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

★ 点鐘 大場 恵治 副会長



★ ロータリーソング

「我等の生業」

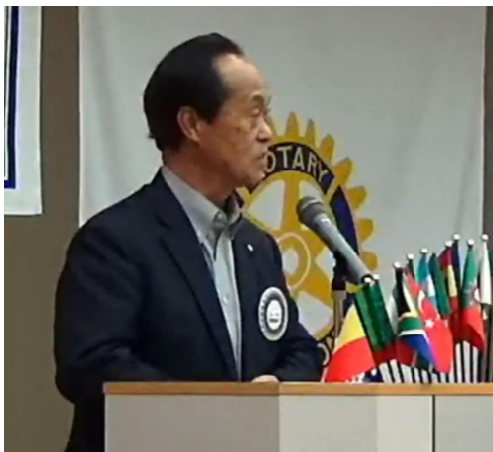
♪ソングリーダー

平 信二君



★ 会長挨拶

大場 恵治 副会長



皆さん、こんにちは。今日は杉野会長が所用で欠席という事で、私が代わりに会長挨拶をさせていただきます。最近、色んな影響でガソリンが高騰しまして土曜日は旭川だったんですけれども、4月には次年度の理事や委員長さんにも出席して頂かなければならないCLLSが旭川であり、昔の地区協議会ですが、困ったなという所です。

また、野球WBCも日本がいい所まで行くのではと思われていましたが、負けてしまい残念です。イタリアが残っていたりして、あまり聞いたことがないなと思っていますが、アメリカ、プエルトリコ、そして日本と対戦したベネズエラが勝ち残っています。我々、年配の者にとってはネットフリックスを繋がないと見られない、テレビで簡単に見れないというのは淋しいなと思いました。この後、菊地エレクトから皆さんにCLLSの参加のお願いがあると思いますが、どうぞ皆様のご協力を宜しくお願い致します。

★ 幹事報告

佐々木 進 幹事



- ・3月のロータリーレートは1ドル＝156円です。
- ・RI日本事務局財団室より「財団室NEWS 3月号」が届いております。
- ・釧路、釧路北、釧路東、釧路南、釧路ベイ根室、浜中 各ロータリークラブより「3月のプログラム」が届いております。
- ・米山記念奨学会より「ハイライトよねやま vol 311号」が届いております。
- ・RI認証ロータリー囲碁同好会より「第24回 RI 台湾囲碁大会のご案内」が届いております。
- ・RI認証ロータリー親睦活動バイク日本支部より「第2回 IFMR ジャパン 青森五所川原開催2026のご案内」が届いております。
- ・釧路地区小学生バレーボール連盟より「第43回釧路西ロータリークラブ会長杯バレーボール大会の報告とお礼」が届いております。
- ・釧路交響楽団協力会より「事務局通信、コンサートのご案内」が届いております。
- ・4月6日(月)例会で皆様にお預けしている募金箱を回収致します。ご持参下さるようお願い致します。

★ 委員会報告

会長エレクト 菊地 康平君



昨日、旭川で開催された「PELS」に行ってきました。4月12日には「CLLS」がありますので、皆様の参加協力をお願い致します。11日に前乗りで行って懇親会をやりたいと思っています。10名ほどで二次会も押さえております。当日は9時開始～最終が14時半という事で19時くらいには釧路に帰ってこれるかなと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

2026-27 年度国際ロータリー第 2500 地区
会長エレクトトレーニングセミナー (PELS)

日時: 2026 年 3 月 15 日 (日) 9:30~
場所: OMO 7 旭川
司会: 小川 雅行・鈴木 美千代

9:30	1. 開会宣言	PELS・CLLS 実行委員長	新田 守
9:30	2. 点鐘	ガバナーエレクト	山本 倫生
9:30	3. 国歌ならびにロータリーソング斉唱	ソングリーダー	切通 洋平
9:35	4. 四つのテスト唱和		
9:40	5. ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト	山本 倫生
9:45	7. ガバナー挨拶	ガバナー	佐渡 正幸
9:50	8. 会長エレクトトレーニングセミナーの開催主旨	地区ラーニングファシリテーター	久木佐知子
9:55	9. 国際協議会報告・RI 会長メッセージ	地区活動方針ならびに地区重点目標について	ガバナーエレクト
10:25	10. 次年度地区予算(案)の審議上程ならびに採択	次年度財務委員長	菅原 康晴
10:35	11. 次年度地区行事予定表(案)ならびに地区組織(案)について	次年度地区幹事	小滝 達也
11:00	12. 「地区の未来を作るチームビルディングと戦略的行動計画」	地区ラーニングファシリテーター	久木佐知子
11:30	13. 「パリオについて」	バスターガバナー	松田 英郎
12:00	14. 開会宣言	PELS・CLLS 実行委員長	林 孝幸
12:10	15. 閉会・点鐘	ガバナーエレクト	山本 倫生
12:15	16. 諸事お知らせ	PELS・CLLS 会場監督	新崎 裕一

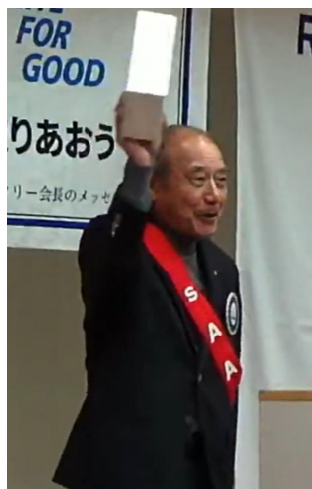
※お持ち帰り用の昼食をご用意しております。

★ 誕生祝

張江 宣夫君 昭和 16 年 3 月 15 日(85 歳)
加納 則好君 昭和 26 年 3 月 1 日(75 歳)



♪ バースデーソングと 記念品の贈呈



【本日のプログラム】

「会員卓話〈請川会員〉」担当 社会奉仕委員会

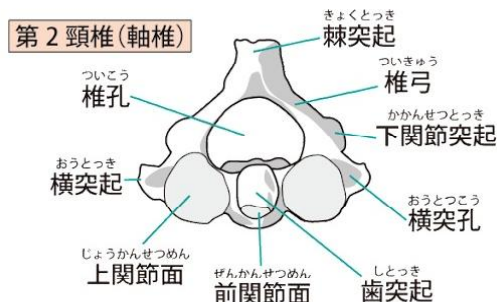


本日、本当は防災センターへの職場訪問を考えていたのですが、防災センターが月曜日がお休みという事がわかりまして、断念せざるを得なくなりました。

今日は、葬儀屋さんの話です。人骨のお話をさせて頂こうと思います。

身内を亡くされ火葬場に行った時、箸で骨を拾います。仏教の流れなんです、まず「箸渡し」というのをします。食事の際に使う「箸」と流れる川にかかっている「橋」の語呂合わせなんですね。足から腰、頭に向かって行く「拾骨」では、遺族が箸で骨を拾い、人から人へとまわします。少しでも上へ、お浄土に行けるように、橋(箸)を渡して渡して、願いを込めて行ったものになります。昔から食事中に箸渡しをしてはいけないと言われるのは、その状態、死を連想させるためです。死は日常とは別のこと、死というのは普段には無いことと捉えて、その場だけで終わらせるという習慣がありました。

骨は一般的に木箱に直接お入れします。大地の土に返してあげたいという祈りが入っていて、瀬戸物とか真鍮のものとか、何百年経っても骨が土に返ることはないものは、一般的に使われません。柔らかい布でお包みして、そっとお墓に入れてあげることもあります。



喉仏の骨がお釈迦様の座った姿に見えるという事で、古来より日本では、この喉仏の骨を大切にしていた。座禅を組み、手は合掌しているように見えるんですね。実はこのお釈迦様の座位に似た骨が、医学的には第2頸椎であるということがわかっています。男性の第二次成長期に出っ張ってくる喉仏は、甲状軟骨のため溶けて残らないという事です。しかし、仏学ではこの第二頸椎を喉仏と呼び、頷く時、首を横に振る時の意思表示に使われる骨に仏がいらっしゃると思って来しました。この意思表示に関係しているという所が重要なのではないかと考えています。人類には必ずこの第二頸椎が存在しています。人類はこの頭の第二頸椎を軸にして、良い時は頷き、悪い時、従いたくない時は首を横に振る、自分の意思を発信伝える事が出来る、その部分なんです。

良い行いというのは困っている人に手や心を差し伸べ支える、何か出来ないか考えて行動出来る部分だと、私たちの体にはそれが備わっていると、悪い例えですけど、人が人を殺してしまえと、戦争行為を命令されたら、首を横に振って、私にはそういう事は出来ませんと、みんなでやめましょうと言うことも出来る部分だと、非常に先人の方は賢いですね。お爺さん、お婆さんの考え方を今、受け入れなければと思います。ただ、形が似ていただけではなくて、そういう意思表示が出来る大事な部分に仏様に似た形が見つかったので、日本人は喉仏と言って大切にしてきたという事です。



そして、もう一つ人間の体(骨)には仏様がいらっしゃると思います。それが胸仏です。亡くなった時、両手を合掌の形に組んで差し上げますが、最終的に、ちょうど胸の上に手が来ます。人間の心の部分なんだと、そして、そこにも立像の仏様がいらっしゃるのではないかと、人の指の第一関節が仏様の立像に見えたことから、最後に人の心の位置した部分に仏様が見えたと、それで胸仏さんと言うようになったという事です。

喉仏さんは人の心の意思を示す部分(頸椎)にいらっしゃる、胸仏さんは人の痛みを受け止める心の部分(胸)にいらっしゃると思われて来しました。いずれにしても仏というのは、人の体、人の心に宿っているのだという考えを、私たち日本人の先祖さんたち、先輩たちは考えたんですね。その2つの心を示す位置に仏様がいたのだと考えたのです。

世界中の人々、どんな人にも仏様がいらっしゃいます。良い行いに対しては世界中が頷き、悪い行いに対して世界中がはっきりと断ることが出来たとき、それが世界平和の訪れなのかも知れません。そんな事が先人より伝えられてきた事なのかも知れません。



★次週例会の御案内

4月6日(月) 12時30分～
ANA クラウンプラザホテル釧路
「環境月間」

担当 社会奉仕委員会

★ 点鐘 大場 恵治 副会長